区民の皆様と区政をつなぐ情報発信誌　Vol.50 2020 盛夏号

港区議会議員

二島（にしま）とよじ

活動レポート

走る！動く！変える！

■発行／自民党議員団所属 二島豊司
〒108-0073 港区三田5-14-1
TEL.03-3455-1421
FAX.03-6868-7243

Nishima Toyoji Activity report

議長となって1年 コロナ対策に全力

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族、関係者の皆様にお見舞い申しあげるとともに、亡くなられた方々に心よりご冥福をお祈りいたします。そして、日夜、治療と感染拡大防止に尽力されている多くの皆様に敬意と感謝を申し上げます。また、全国各地で発生した豪雨災害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

すべてを一変させた新型コロナウィルス。区議会議長として対応に全力!

5月12日に令和2年第一回臨時会、そして、6月24日から7月3日にかけて第二回定例会が開催されました。新型コロナウィルスにより、心身の健康、日々の生活や事業に大きな影響を受けている区民・区内事業者の皆様に向けた、特別定額給付金の支給や港区の独自支援策を裏付けるための補正予算案を審議、成立させました。

自らがリードして連絡会議を立ち上げ、連携態勢をつくる。

新型コロナウィルス感染症が拡大し、私たちを取り巻く世界は一変しました。学校の一斉休校や緊急事態宣言の発出など、これまで経験のしたことのない事態が続き、未知の感染症に対する不安が高まりました。区議会としても前例のない事態に直面し、区民生活への影響が日に日に大きくなる中で、議会に与えられた役割を果たすための最善の対応を模索し、それは今も続いています。

第一回定例会での令和二年度予算案審議においては、時間短縮を図りかつ審議内容を維持するため、書面での質疑も取り入れ、コロナ対応にあたる行政職員の議会対応への負担軽減を図りました。

〈裏面に続く〉

二島とよじの記事、掲載！

朝日新聞_令和2年7月10日号

議会編 上

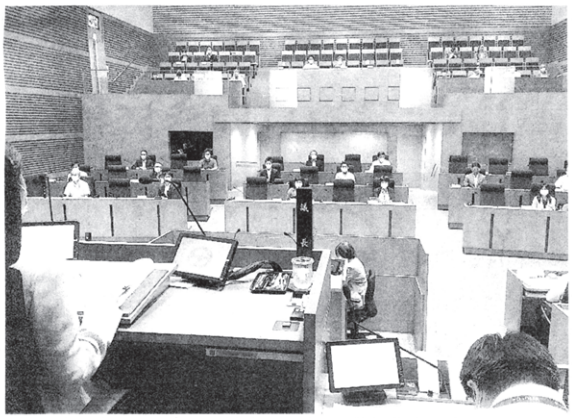
新型コロナウイルスが広がり始めてから、行政はその対応に多忙を極めた。一方で、議会はどう対応したのか。首長の運営を監視する役割として機能できたのか。都内自治体の議会を検証する。

港区は4月20日、約37億円の補正予算を専決処分したと発表した。中小企業向け特別融資の拡充のほか、民間機関でのPCR検査実施などを盛り込んだ。都内区市では先んじての対応となったが、背景に、議会側の異例の配慮があった。

実は、緊急事態宣言が出た同月7日の時点で、緊急の案件については原則、区長専決を認めると早々と決めていたのだ。「専決でどうぞ、とフリーハンドを与えるのが議会として正しいのか、かなり悩んだ」。二島豊司議長は振り返る。

コロナへの危機感が一気に高まったのは、3月初めの全国一斉休校だった。正副議長や議会運営委員長、会派代表の10人で連絡会議を立ち上げた。34人いる議員個々が所管部署に問い合わせることを自粛。窓口を一本化することで、行政側にコロナ対応に専念してもらうためだった。

宣言時に当面の間の本会議と委員会を開かないと決め、専決容認にも踏み込んだ。連絡会議で「行政と議会、議員間で意思疎通できている前提だった」と二島議長は明かした。



町田市議会では、2階の傍聴席も使い、前後左右1席ずつ空けた「市松模様」での着席となった＝6月11日の定例会

検証 新型コロナ

区民・区内事業者の皆様から数多く寄せられる不安の声や切実なご要望を行政に迅速に伝えると同時に、日々刻々と更新される情報を受けるため、各会派代表者で構成する「新型コロナウィルスに関する連絡会議」を立ち上げ、議会と行政とが現在の状況や施策の検討状況などについても正確に情報を共有し、連携できる態勢を構築しました。（これらの取組みは朝日新聞より取材を受けました。表面をご参照ください。）

議長として一年余りが経過。決意も新たに一層、努力を続けます。

振り返れば、昨年5月に港区議会議長に就任して、一年余りが経過しました。令和初の議長として、就任後の定例会冒頭、天皇陛下御即位を祝す

賀詞を港区議会として謹んで奉呈させていただき、その直後に天皇皇后両陛下がご即位後初めてとなる児童施設訪問として麻布保育園を行幸啓なされた際には、じかにお目にかかり懇談させていただくという得難い機会にも恵まれました。

様々公務に邁進をしてまいりましたが、現在議長としての公務はこれまでとは全く異なるものとなっています。港区議会の「新しい日常」を構築しつつ、区民の皆様の「声」や「思い」をきめ細かく区政に届け、かつ議会や区政の情報発信になお一層の工夫を重ねて参ります。

皆様、力を合わせて、港区から「新しい日常」を創り出していきましょう。

6月に入り、学校をはじめとして区内の各施設の利用が順次再開されましたが、7月以降感染は拡大を続けています。まず備えを確実なものとして、正確な情報提供と丁寧な説明を尽くし、区民生活の「新しい日常」を構築して行かなくてはなりません。引き続き皆様のご理解とご協力を心からお願いいたします。

港区議会議員
二島　豊司

区長選挙を振り返って…。

6月7日港区長選挙が投開票され、武井雅昭区長が5期目の当選を果たされました。

現職区長として、新型コロナウィルス対応に万全を期すため、選挙期間中の活動も大幅に縮小しての選挙となりましたが、投票率は前回を大きく上回り、28年ぶりに30%台となりました。

新型コロナウィルスへの対応策に関する区民の皆様の関心の高まりであると同時に、区民に最も身近な自治体としての責任の重さの現れと実感したところです。

行政と車の両輪にたとえられる議会の長として、改めて気を引き締め、与えられた職責を果たして参ります。

下記ホームページをぜひご覧下さい。ご意見・ご感想お待ちしております。

二島豊司（にしま・とよじ）プロフィール

- ●昭和47年（1972年）、栃木県足尾町（現・日光市）生まれ
- ●栃木県立宇都宮高校卒～早稲田大学法学部卒
- ●株式会社日本リース勤務～衆議院議員・梶山弘志秘書
- ●平成19年4月、港区議会議員に初当選（現在4期）
- ●令和元年5月、第46代港区議会議長就任
- ●ボーイスカウト港17団（港区白金）リーダー、ガールスカウト東京94団（港区白金）をサポートするリーダー、障がい者スイミングクラブボランティア等も行う●家族は妻と2男（11歳、5歳）
- ◆自民党議員団幹事長、港区議会総務常任委員長、建設常任委員長、自民党東京都連青年部幹事長等を歴任◆元・明治学院大学非常勤講師（都政研究）◆NPO法人 先端政策研究機構主任研究員

連絡先／二島とよじ事務所　〒108-0073 港区三田5-14-1　TEL.03-3455-1421　FAX.03-6868-7243
二島とよじ ホームページ http://www.toyoji.jp/　eメール nishima@toyoji.jp

コチラをご覧ください　www.city.minato.tokyo.jp/hokenyobou/fumeihaien.html　検索はコチラ

港区新型コロナウィルス関連 特設ページ　港区 コロナ特設